No.2530

旧東海道を歩く

箱根　東坂

実施日　２０１１年９月２５日（日）
天　候　曇時々晴
Ｃ　Ｌ　一柳　昭
Ｓ　Ｌ　島本　陳重
参加者　吉田伊勢次郎、上野キヨ、齋恵美子、金丸徐子、渡辺清、飯島義江、一柳昭、山口駿三、西山正巳、涌井良明、島本陳重、小松月子、安田三恵子、荻野智恵子、伊藤久雄、山口美知子、石原勝正、関塚七海、宮下良之　計19名
費　用　新宿駅⇒小田原駅　850円/小田原駅⇒箱根関所跡　1150円/箱根湯本駅⇒小田原駅　300円/小田原駅⇒新宿駅　850円　交通費計　3,150円
タイム　小田原駅(8:50~9:00ﾊﾞｽ)箱根関所跡BS(9:55~10:05)箱根関所・箱根関所資料館(10:10~10:45)箱根杉並木(10:50)賽の河原(11:03~11:06)旧東海道入口(11:12)甘酒茶屋・箱根旧街道資料館(11:55~12:40昼食)畑宿(13:35~13:47)寄木資料館(13:50~14:00)鎖雲寺(14:43)箱根湯本駅(15:50)

昨年の箱根西坂に続いて今回は箱根東坂を箱根関所跡から箱根湯本駅まで歩く。本来は小田原までであるが、箱根湯本－小田原間は車道歩きになるのでカットした。

終点の箱根関所跡バス停留所で降り１４０年前当時に忠実に復元した箱根関所・箱根関所資料館を見学した。高台にある遠見番所から見る富士山と芦ノ湖は絶景である。この後は箱根杉並木、賽の河原を経て旧東海道入口へ。ここから石畳の道になる。

最初は緩い登りで後は降るのみだが慎重に歩く。４０分ほどで甘酒茶屋に着きここで昼食をとる。甘酒茶屋は江戸時代には十数軒あったが現在はここ１軒のみになってしまった。昼食後は隣接する箱根旧街道資料館を見学してから旧東海道に戻り再び歩き始める。

幾つもの石畳の坂を歩き橿木坂の２７０段の階段を降りると一旦車道に出て七曲がりの車道をしばらく歩き、また石畳の道を通ると畑宿に着く。寄木資料館を見学のあと最後の石畳の道を通り畑宿発電所そばの川を渡ろうとしたら先日の台風で丸太橋が３つとも流されてしまっていた。しかたなく畑宿発電所近くの吊橋を向岸に渡った。

この後は渓谷沿いの道を歩き車道に出て鎖雲寺に着く。ここは「飯沼勝五郎・初花の墓」がある。夫婦で仇を捜して旅をするうちに病身となった勝五郎。妻の初花は夜な夜な滝に打たれ病回復を祈ったとか。初花の一念が実り勝五郎は回復し見事に仇討ちを果たしたと伝えられている。(後に初花は「貞女の鏡」と語り継がれた)

昨年の箱根西坂は猛暑に負け山中城跡－三島駅間をバスでショートカットしてしまつたので、今回は頑張って箱根湯本駅まで完歩した。

箱根東坂は歩き甲斐があった。特に良かったのは「石畳道」を歩いて「江戸時代」を直接感じることができたことである。

（記・一柳　昭）
（写真提供・涌井　良明）